

ヴァイキング (1957)

THE VIKINGS

メディア 映画

ジャンル 歴史劇 アクション アドベンチャー

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 114分

初公開日 1958/09/20

公開情報 松竹

【解説】

50年代末に登場した大型画面の歴史活劇の表の最高作が、同じダグラス製作・主演の「スパルタカス」だとすれば、裏のそれはこの作品に違いあるまい。8～9世紀ヨーロッパの海を荒しまわったヴァイキングは海神オディーンを尊び、戦いに生き、死ぬことを誇りとする北方の民族だった。中でも悪名高きラグナー（ボーグナイン）は英国王の命を奪い、その妃を犯した。王位は従弟アイエラが継ぎ、妃は密かにラグナーとの子を産み落とし、王権のせいせい象徴たる王剣の柄石を持たせイタリアに流した。めぐり巡って、その子エリック（カーティス）はそれと知らず父ラグナーの奴隷となって、異母兄であるエイナー（ダグラス）の虐待に反抗、狩り用の鷹で彼の片目を傷つける。が、処刑間際を、ラグナーの内通者だった逃亡の身の英国高官エグバート卿と女占師に助けられ、エイナーの虜囚となっていた英国王妃モーガナ（リー）と共に母国へ向け舟を漕ぎ出す。彼の手には魚の形をした磁石があるが、追うラグナーにはない。舵を誤って岩壁に激突、船は大破してラグナーは海に吞まれるが、エリックらに救われた所を、英軍に捕まる。ラグナーは即刻、狼の群れに放り込まれる処刑を受け、実子の渡した剣を手し、堂々と死んでいき、エリックは王にその左手を切り落とされた。英国への恨みを抱いてエイナーの元へ戻ったエリックは協力して王を討つことを提言。彼らは共に英軍城砦へと攻め入る（城壁をよじ登るダグラスの逞しき力演！）。王を倒したエイナーだったが、モーガナに、エリックと兄弟である真実を告げられてなお、彼女をめぐる合い争って、しかし、いざという時ひるんでしまい、逆に弟に刺されて死ぬ。この本物の砦の上での高度感たっぷりの格闘は大迫力で、TV画面でも存分に楽しめるだろう。撮影はJ・カーディフでその色彩は見事の一言。フライシャー演出はダイナミックかつ風格も充分で、とにかく大満足の本一本である。

【クレジット】

監督	リチャード・フライシャー	Richard Fleischer	
製作	ジェリー・ブレスラー	Jerry Bresler	
原作	エディソン・マーシャル	Edison Marshall	
脚本	カルダー・ウィリングガム	Calder Willingham	
	デイル・ワッサーマン	Dale Wasserman	
撮影	ジャック・カーディフ	Jack Cardiff	
編集	エルモ・ウィリアムズ	Elmo Williams	
音楽	マリオ・ナシンベネ	Mario Nascimbene	
出演	カーク・ダグラス	Kirk Douglas	アイナー
	アーネスト・ボーグナイン	Ernest Borgnine	ラグナー
	ジャネット・リー	Janet Leigh	モーガナ王女
	トニー・カーティス	Tony Curtis	エリック
	アレクサンダー・ノックス	Alexander Knox	ゴッドウィン神父
	ジェームズ・ドナルド	James Donald	エグバート

マキシム・オードリー	Maxine Audley	エニッド王妃
フランク・スリング	Frank Thring	エイラ王
ダンディ・ニコルズ	Dandy Nichols	ブリジット